

平成 28 年 10 月 31 日

各位

会社名 株式会社 TOKAI ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 嶋田 勝彦
 (コード番号 3167 東証第 1 部)
 問合せ先 理事 広報・IR 室担当 谷口 芳浩
 (TEL. 054-273-4878)

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算について

～大幅な増益で過去最高益を更新、通期業績予想の上方修正及び配当予想の修正（増配）～

当社は、本日、平成 29 年 3 月期 第 2 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の決算を発表しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

(単位：百万円)

	当期実績 (平成 28.4.1～平成 28.9.30)	前年同期実績 (平成 27.4.1～平成 27.9.30)	当初予想 (平成 28.4.1～平成 28.9.30)	前年同期比	当初予想比
売上高	82,201	84,773	85,300	△2,571	△3,098
営業利益	4,406	1,856	3,380	+2,549	+1,026
経常利益	4,428	1,779	3,270	+2,649	+1,159
四半期純利益	2,384	277	1,120	+2,107	+1,264
1 株当たり利益	21.00 円	2.39 円	9.89 円	+18.61 円	+11.11 円

1. 大幅な増益で過去最高益を更新

平成 28 年 5 月に公表した第 2 四半期の連結業績予想(営業利益;前年同期 19 億円→当期 34 億円)、に対し、営業利益が 10 億円 (30.4%増) 上回るペースで進捗、また、前年同期に対しても 25 億円 (137.4%増) の大幅な増益となり、第 2 四半期における全ての利益項目が過去最高益を更新しました。

今期の重点施策である光コラボ[※]が前期に行った積極的な販促が奏功して 13 億円改善し、また、アクア (宅配水) 事業も販売戦略の転換等により収支が 8 億円改善して当中間期に黒字化を達成しました。これらにより、営業利益が全体で前年同期比 25 億円の大幅増益となりました。

2. 通期業績予想の上方修正

当社グループが平成 26 年 6 月に公表した中期経営計画「Innovation Plan 2016 “Growing”」（以下、「IP16」という）は、平成 27 年 3 月期～平成 29 年 3 月期を事業収益力の強化期間と位置づけ、今期が最終年度となります。

平成 28 年 5 月に公表した平成 29 年 3 月期の通期業績については、営業利益 126 億円、経常利益 118 億円、当期純利益 62 億円と、全ての利益項目が過去最高益を更新する見通しとしておりました。

上記のとおり、第 2 四半期の営業利益が当初予想を上回って進捗し、下期において、来期以降の成長に向けた顧客基盤拡大の追加先行コスト等を織込んだうえでも通期業績が当初予想を上回る見通しであることから、通期業績予想を以下のとおり上方修正します。

(単位：百万円)

	当期予想 (平成 28.4.1～平成 29.3.31)	前期実績 (平成 27.4.1～平成 28.3.31)	当初予想 (平成 28.4.1～平成 29.3.31)	前期比	当初予想比
売上高	179,700	180,940	187,100	△1,240	△7,400
営業利益	12,750	8,245	12,560	+4,505	+190
経常利益	12,360	8,150	11,830	+4,210	+530
当期純利益	6,500	3,458	6,240	+3,042	+260
1 株当たり利益	57.23 円	30.01 円	55.13 円	+27.22 円	+2.10 円

3. 配当予想の修正(前期年間配当金 1 株当たり 14 円に対し 14 円の増配)

上記のとおり、通期業績予想並びに中期経営計画「IP16」の達成に目途がたったことから、株主の皆様のご支援にお応えするため、平成 29 年 3 月期の期末配当金を 1 株当たり普通配当 11 円に「IP16 達成」記念配当 6 円を加えて合計 17 円とします。

これに伴い、年間配当予想を 1 株当たり 22 円から 28 円に修正、平成 28 年 3 月期と比べて 14 円の増配（倍増）となります。

	平成 29 年 3 月期 (予想)	平成 28 年 3 月期 前期実績	平成 29 年 3 月期 (当初予想)
第 2 四半期末	11.00 円	6.00 円	11.00 円
期 末	17.00 円 (普通配当 11.00 円) (記念配当 6.00 円)	8.00 円	11.00 円
年間配当金 合計	28.00 円	14.00 円	22.00 円
配当性向 (連結)	48.9%	46.7%	40.0%

詳細につきましては、別添の「第 2 四半期決算について」資料をご参照ください。

また、平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信は、以下の URL をご参照ください。

<http://tokaiholdings.co.jp/ir/library/earnings.html>

以 上

※ISP 事業者ほかから NTT から光回線の提供を受け、独自ブランドの光回線サービスを提供すること

第2四半期決算について

株式会社TOKAIホールディングス
(証券コード:3167)

平成28年10月31日

大幅増益で過去最高益を更新

- ◎ 当初予想を上回るペースで進捗(営業利益+30.4%、純利益+112.9%)
- ◎ 今期の重点施策である光コラボ、アクア事業での収支改善が順調に進み(2事業で16億円改善予想が21億円に)収益は着実に嵩上げ。アクアは中間期で黒字化
- ◎ ガス原料値下がりに伴う価格改定の売上高への影響が前期比△48億円

(売上高・利益:百万円、1株当たり利益:円)

	当期実績	前年同期	当初予想	前年同期比		当初予想比	
				増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
売上高	82,201	84,773	85,300	△2,571	△3.0	△3,098	△3.6
営業利益	4,406	1,856	3,380	+2,549	+137.4	+1,026	+30.4
うち、光コラボ	△182	△1,512	△505	+1,330	-	+324	-
うち、アクア	201	△616	△65	+817	-	+267	-
経常利益	4,428	1,779	3,270	+2,649	+148.9	+1,159	+35.4
四半期純利益	2,384	277	1,120	+2,107	+760.2	+1,264	+112.9
(1株当たり利益)	(21.0)	(2.39)	(9.89)	(+18.61)	(+777.6)	(+11.11)	(+112.3)

※光コラボ、アクアの営業利益は間接費配賦前ベース

ガス原料価格の市況

- ◎ 石油国際市場での供給過剰を背景に、2014年以降、原油の値下がりが続
- ◎ これに連動してLPGおよびLNG価格も下落の状況
- ◎ LPガスの原料価格水準は前年同期比64%、LNGは同57%の状況で、価格改訂による当社の影響はLPガス△23億円、都市ガス△25億円

	上期実績	前年同期	前年同期比
LPG	CP平均	309 \$/ton	426 \$/ton △ 117 \$/ton
	為替平均	107.9 円/\$	121.5 円/\$ △13.6 円/\$
	CP×為替	33,341 円/ton	51,759 円/ton △18,418 円/ton (前年同期比 64.4%)
LNG	CIF平均 ※	40,144 円/ton	70,817 円/ton △ 30,673 円/ton (前年同期比 56.7%)

※出所:財務省「貿易統計」

2

上期踏まえ通期業績は上振れ

- ◎ 上期は、以下の要因から10億円の**上振れ**
 - ①LPガス(+2億円) : ガス原料値下がりによりマージン改善
 - ②CATV(+3億円) : 顧客の順調な純増により増益
 - ③光コラボ(+4億円) : 市況全体が想定ほど盛り上がりせず、純増件数が53千件と想定を約3割下回り(△19千件)、獲得コストが減少
- ◎ 下期は、以下のコストをかけるが、当初の通期予想を達成する見通し
 - ①光コラボ(△4億円) : 同様な事業環境が続くため、上期の獲得件数減少によるマイナスを織込む
 - ②LPガス(△2億円) : 上期に一部同業他社との競合で失った顧客分の件数挽回にコストを追加
 - ③CATV(△2億円) : 来期以降の成長に向けた顧客基盤拡大のために先行コストを追加

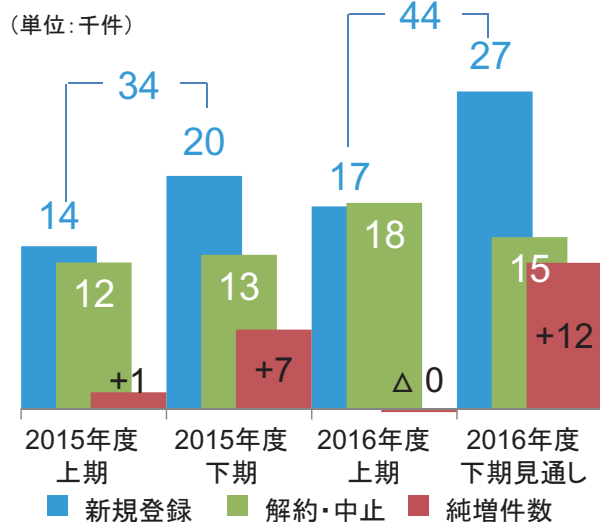
営業利益	上期予想比	下期予想比	通期予想比
LPガス	+ 2 億円	△ 2 億円	
情報通信(光コラボ)	+ 4 億円	△ 4 億円	
CATV	+ 3 億円	△ 2 億円	
その他	+ 1 億円		
計	+ 10 億円	△ 8 億円	+ 2 億円

3

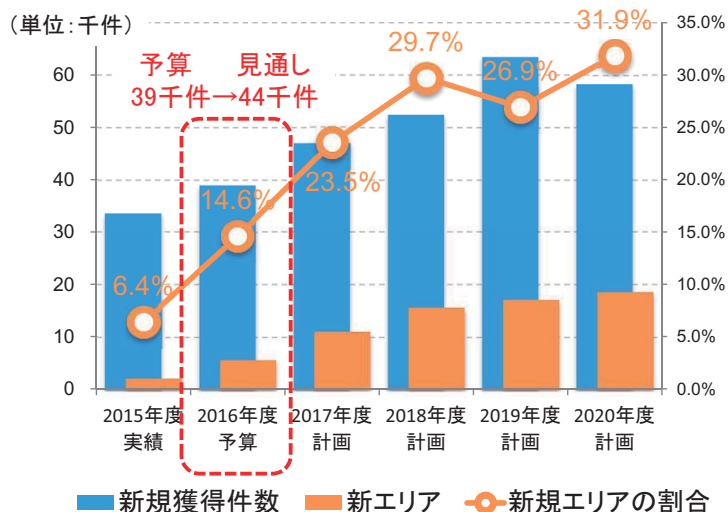
ガス事業の顧客基盤の拡大

- ◎ 上期は新規獲得が前年同期25%増(14千件→17千件)となり、通期も前期比3割増加(34千件→44千件)の見込み。既存・新規エリア共に計画以上に推移
- ◎ 上期は、一部同業他社との競合で解約が増えたが、対策を講じ足下は沈静化。上期の業績が好調なことから、下期にコストをかけて(2億円)獲得営業を強化、来期以降の増益につなげる

顧客動態(前年比)



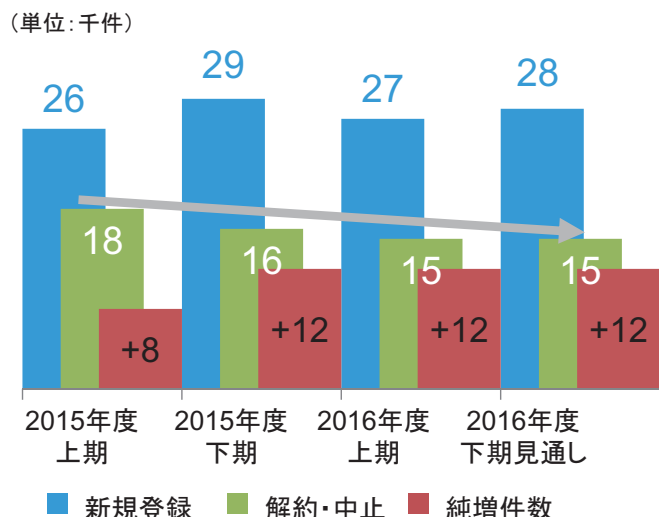
新規獲得件数目標



CATV事業は顧客が増加

- ◎ 前期の20千件(放送+6千件、通信+14千件)の純増に対し、今期は24千件(放送+8千件、通信+16千件)と堅調に顧客が増加
- ◎ 前期より取り組んできた個別訪問巡回による解約抑制効果に加え、訪問時に獲得できている通信・電話ほか付加価値サービスが増益に貢献
- ◎ 下期は追加コストをかけて獲得営業を推進、来期以降の成長につなげる

顧客動態(前年比)



新たな顧客獲得戦略

新築戸建て獲得チャネルの開拓
(ハウスメーカー/工務店ルート)

「ひかりテレビプラス」を発売
(アンテナ視聴世帯スイッチング商品)

通期業績予想(修正)

- ◎ 5月発表の通期業績予想は、営業利益126億円、当期純利益62億円の過去最高益とした
- ◎ 今回、中間期を踏まえた通期の見直しをもとに、当初予想を見直し、営業利益128億円(+1.9億円)、当期純利益65億円(+2.6億円)へ修正

(売上高・利益:百万円、1株当たり利益:円)

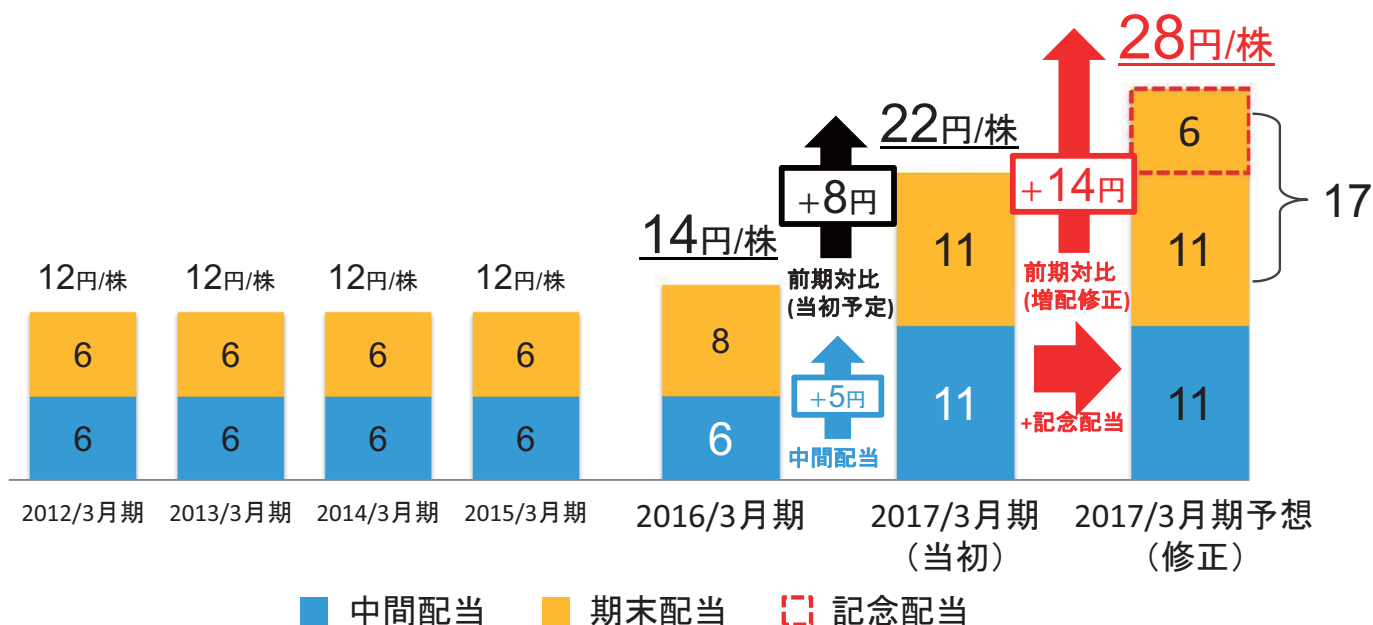
	修正 当期予想	前期	当初予想	前期比		当初予想比	
				増減額	増減率 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	179,700	180,940	187,100	△1,240	△0.7	△7,400	△4.0
営業利益	12,750	8,245	12,560	+4,505	+54.6	+190	+1.5
うち、光コラボ	△442	△3,007	△728	+2,566	-	+286	-
うち、アクア	301	△1,119	12	+1,420	-	+289	+2,317.4
経常利益	12,360	8,150	11,830	+4,210	+51.7	+530	+4.5
当期純利益	6,500	3,458	6,240	+3,042	+88.0	+260	+4.2
(1株当たり利益)	(57.23)	(30.01)	(55.13)	(+27.22)	(+90.7)	(+2.10)	(+3.8)

※光コラボ、アクアの営業利益は間接費配賦前ベース

6

配当予想の修正(増配)

- ◎ 中間配当は予定通りの11円/株(前中間期の1株当たり6円に対して5円の増配)
- ◎ 通期業績予想の達成目途がたったことから、期末配当は、当初予定配当11円/株にIP16達成記念配当6円を上乘せして17円/株に増配の予定
- ◎ 2期連続の増配かつ今期は年間配当28円(前期14円/株)と倍増を予定



7

Appendix

- (1)連結業績
- (2)セグメント別売上高
- (3)セグメント別営業利益
- (4)連結財務指標
- (5)連結キャッシュフロー
- (6)グループ顧客件数

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	2011年 2Q実績	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績
売上高	82,586	83,610	84,315	87,274	84,773	82,201
営業利益	2,200	2,573	411	1,816	1,856	4,406
経常利益	1,646	2,155	303	1,585	1,779	4,428
四半期純利益	△39	331	△354	225	277	2,384
1株当たり純利益	△0.39 円	3.32 円	△3.10 円	1.96 円	2.39 円	21.00 円

(2) セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2011年 2Q実績	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績
ガス・石油	41,844	42,600	41,846	42,754	37,958	32,496
情報・通信	18,305	18,488	18,868	19,546	20,425	23,750
CATV	12,108	11,840	12,049	12,144	12,212	12,560
建築・不動産	6,216	6,541	7,250	8,197	9,301	8,040
アクア	1,776	1,929	2,102	2,423	2,746	2,929
その他	2,334	2,211	2,196	2,207	2,128	2,423
合計	82,586	83,610	84,315	87,274	84,773	82,201

10

(3) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2011年 2Q実績	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績
ガス・石油	1,298	1,812	1,173	2,028	2,661	2,838
情報・通信	2,737	2,629	1,958	2,389	1,086	1,910
CATV	1,033	834	904	843	968	1,451
建築・不動産	126	69	249	143	347	324
アクア	△531	△393	△1,318	△979	△616	201
その他・調整額	△2,462	△2,379	△2,556	△2,608	△2,590	△2,318
合計	2,200	2,573	411	1,816	1,856	4,406

※数値は間接費用等配賦前ベース

11

(4) 連結財務指標

(単位:百万円)

	2011年 2Q実績	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績
資産合計	185,770	171,914	168,296	164,477	160,237	153,384
負債合計	161,352	144,911	134,983	125,521	117,722	109,380
純資産合計	24,418	27,002	33,313	38,956	42,514	44,004
有利子負債残高	116,845	100,715	90,487	80,930	76,253	65,761
E B I T D A	11,057	11,288	9,168	10,494	10,231	12,217
自己資本比率	12.7 %	15.2 %	19.3 %	23.1 %	25.9 %	28.2 %

12

(5) 連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2011年 2Q実績	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績
営業活動による キャッシュフロー	11,493	12,533	10,043	11,476	4,412	12,039
投資活動による キャッシュフロー	△4,824	△4,657	△5,049	△4,515	△5,289	△4,668
フリー キャッシュフロー	6,669	7,876	4,994	6,961	△876	7,370
財務活動による キャッシュフロー	△10,283	△7,717	△6,378	△8,021	236	△8,833

13

(6) グループ顧客件数

(単位:千件)

		2011年 2Q実績	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績
ガス(LP・都市ガス)		668	635	629	626	627	634
情報 通信	従来型ISP等	729	785	841	861	742	565
	光コラボ	—	—	—	—	117	272
	モバイル	180	202	221	231	234	234
	小計	909	986	1,062	1,093	1,093	1,071
CATV		727	686	693	690	698	722
アクア		95	102	120	132	132	135
セキュリティ		21	20	19	18	18	17
合計		2,398	2,405	2,498	2,535	2,543	2,554

※千件未満四捨五入。情報通信とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。

14

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス 広報・IR室
 〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8
 TEL: (054)275-0007
 FAX: (054)275-1110
<http://tokaiholdings.co.jp>
 e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

うれしいをつなぐ。ひろげる。

